

令和８年度 安中市デジタル田園都市構想総合戦略推進会議 会議録（公開用）

開催日時	令和８年７月６日（月）１４時～１５時１５分まで
開催場所	安中市役所本庁舎２階 中会議室１（安中市安中二丁目１３番７号）
出席委員 （敬称略）	小竹 裕人（会長）、小坂 景子（副会長）、宮下 雅和、 大塚 由紀子、竹下 裕理（計５人）
欠席委員 （敬称略）	本多 真、矢野 悦子（計２人）
事務局等	〔政策・デジタル推進課〕 大溝部長（欠席）、猿谷課長、須藤課長補佐、寺井主任
傍聴者	０人

●会議内容

１．開会 （１４時００分開会）

２．自己紹介

３．議事〔議長：小竹会長〕

（１）令和７年度安中市デジタル田園都市構想総合戦略の進捗状況について

<事務局説明> ◇＝委員 ●＝事務局 以下同じ

●	「安中市デジタル田園都市構想総合戦略」は、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえて策定 「安中市版の総合戦略」は「第３次安中市総合計画」に内包され、地域課題の総合的かつ横断的解決を目的とした重点プロジェクトとして位置付け 【資料１および２に沿った説明】 ➤ 資料１：令和６年３月策定の「第３次安中市総合計画」の全指標について、令和７年度の各所管課による実績報告をまとめたもの。政策・デジタル推進課として、基本施策ごとの総合評価を行った。各評価は達成度に応じてＳ～Ｄで評価。 Ｓ： 目標以上を達成 Ａ： 概ね目標を達成 Ｂ： 目標達成に向け順調に推移 Ｃ： やや目標達成困難 Ｄ： 目標達成困難 ➤ 資料２：総合計画全体の基本施策ごとの総合評価をまとめ、昨年度と比較したもの。
---	--

【基本目標 1】未来を担う 子どもたちが健やかに育つまち

- 少子化対策、子育て環境の充実など 3 施策を掲げている。
- 「少子化対策の推進」は C 評価。重点指標の婚姻件数は 114 件で、目標 150 件には届いていない。結婚支援事業等を実施しているが、目標達成は難しいと判断した。
- 一方、子育て支援関連の指標は順調に目標に近づいている。

【基本目標 2】支えあい 誰もが健康長寿で暮らしやすいまち

- 地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉、地域医療体制の充実など 6 施策。
- 基本施策「高齢者福祉の推進」のうち重点指標の「シルバー人材センター会員数」「老人クラブ会員数」は、令和 6 年度から悪化し、基準年度の令和 4 年度より後退。所管課の分析では、高齢化の進行により退会者増加や老人クラブ解散が増えていることが要因とされている。他指標に改善が見られるものの、総合評価は C。
- 「碓氷病院医師数」は目標 20 人に対し 22 人で、所管課評価は A。ただし、常勤医師の定年問題や医業収益の悪化等、次年度以降も減少に転じる懸念があり、長期的には課題が残るため、基本施策としての総合評価は C。

【基本目標 3】安全・安心で心地よく 住み続けられるまち

- 基本施策は、土地利用、道路交通網整備、公共交通、防災、防犯、交通安全など 6 項目。
- 「道路交通網の整備」「防犯対策の推進」は目標値に向けて改善。
- 「公共交通の充実」は、昨年度に引き続き目標を超えて達成しており、S 評価。
- 公共交通は、第 3 次総合計画策定時の市民アンケートで満足度が低く、緊急性が高い施策と認識されていた。
- 令和 7 年度末に公共交通を全面見直しし、新路線で運行する「あんバス」、AI 新交通「あんなカー」が本格運行を開始した。

【基本目標 4】自分らしく 心豊かに暮らせるまち

- 基本施策は、芸術・文化、生涯スポーツ、小中学校教育、生涯学習・人権啓発、都市交流、市民協働・男女共同参画など 6 項目。
- 「生涯スポーツの推進」は、令和 6 年度の B 評価から D 評価に変更。重点指標「スポーツ事業への参加者数」が事業廃止もあり目標を大きく下回っており、後期目標設定時に見直しが必要。
- 「小中学校教育の充実」では、重点指標のうち「松井田の学校給食センターでの食物アレルギー対応レベル」が順調に推移し、目標を達成。
- 「市民協働・男女共同参画の推進」は、4 指標すべてが重点指標。周知・啓発は行っているが、「NP0・ボランティア登録団体数」を除き停滞。総合評価は C。

【基本目標 5】豊かな自然を活かし 快適で住みやすいまち

- 基本施策は、環境保全、公園・住環境、上下水道整備などの6項目。
- 「環境保全・良好な生活環境の促進」は対象指標「狂犬病予防注射接種率」で、ヒアリング実施や未接種飼い主への周知等が奏功し、目標値を概ね達成。総合評価が昨年度のC評価からA評価に改善。
- 「都市公園面積」は、既存公園の施設更新を優先しているため停滞。
- 「空き家の除却戸数」は、補助制度の利用促進に向け広報や納税通知書への周知を実施しているものの、目標達成は困難と見込み、総合評価をDとした。

【基本目標 6】経済が活性化し 元気で魅力にあふれるまち

- 基本施策は、商工業、農林業、観光、移住・定住促進など6項目。
- 「商工業の振興」では、経済センサス活動調査に基づく指標があるが、令和8年度の調査実施のため、現時点ではデータなし。
- 「企業誘致件数」「企業誘致による新規雇用者数」「市外からの進出企業数」もデータなしだが、令和9年引渡し予定の工業用地や令和11年の工業団地引渡し予定があり、目標に向け順調に推移しているため総合的にB評価。
- 「農業の振興」は、重点指標3つが全体的に停滞し、D評価。
- 「農業産出額」は国公表値を用いるため、現時点では空欄。
- 「観光の振興」は、2指標とも重点目標。コンテンツ開発の成果は出ているものの、数値は減少しており、継続努力が必要なことからB評価に引下げた。
- 「移住・定住の促進」は、「人口の社会増加数」が令和6年度実績から減少しており、目標達成が難しい見込みのためC評価。

【基本目標 7】市民のための健全な行財政運営と 市の魅力向上

- 基本施策は、効率的で健全な行財政運営、自治体DX、情報発信強化の3項目。
- 重点目標「経常収支比率」は、確定している令和6年度実績までを掲載。目標88%以下に対し実績99.3%。
- 「企業版ふるさと納税件数、納税金額」は、寄附募集チラシの作成等による周知が奏功し、目標を大きく上回った。
- 「自治体DXの推進」は、全体的に目標を超えており、S評価。
- 「電子地域通貨決済額」は、市合併20周年記念キャンペーンの実施により、目標1億8千万円に対し約2億7千万円と大きく上回った。
- 「RPA利用事業数」は、庁内システムの全国標準システム移行時期と重なり、新システム移行対応を優先したため、1事業の増にとどまった。

質疑応答等

◇	質問等あるか。
◇	基本施策 7-3「オープンデータ登録件数」のオープンデータとは具体的に何を指すのか。
●	市が保有する公共データを、市民や民間企業が自由に活用できるよう Excel や CSV 形式でホームページに公開するものである。掲載されている例としては、AED 設置場所や文化財マップなどがある。
◇	基本施策 1-1 婚姻件数の目標設定について、個々人の私的な動きを市の対策で増加させるというのはなかなか困難な目標設定。行政が操作するのは難しいと感じる。
◇	基本施策 2-1 のサロン件数について、伸び悩んで数値が基準値より下がっている状況。C 評価で妥当か。
●	高齢者数は増えているが、一方で仕事をしている高齢者も多くなった。サロン運営に係われる担い手が不足しており、新設よりも閉鎖が上回る停滞した状況にある。基本施策 2-2 に含まれる「老人クラブ会員数」も同様の背景があり、計画と社会的傾向とのミスマッチが生じている。
◇	基本施策 2-6 の「生活困窮者生活支援窓口相談者数」の指標については、延べ数だと何度も来談する人も含まれるため、単なる延べ人数だけでなく、実際に解決に至った人の数なども指標として考慮してもよいのではないかと思う。
◇	基本施策 3-5 の「出前講座参加者数」については、参加人数というアウトプットだけでなく、利用者の満足度などのアウトカム指標も重要。
◇	全国的な上水道の老朽化問題があるが、安中市の状況はどうか、安定しているか。
●	安定的に運営できていると認識している。市民アンケートの結果でも水道に関しては重要視されており、評価も高い。企業団時代から維持管理のノウハウが引き継がれており、水源も良好である。直近で取水制限なども起こっていない。
◇	水に関する安心感は安中市の魅力として打ち出してもいいかもしれない。
◇	令和 8 年度時点で目標達成できていない指標について、今後、令和 9 年度に向けて数値の変更などは行っていくのか。特に基本施策 4-2 の「スポーツ事業への参加者数」では目標値と大きな乖離があるが。
●	令和 9 年度までの数値は現計画の前期目標。後期計画策定時には市民アンケートを実施したうえで、実情に合わせた再設定を検討する。 スポーツ課の目標設定と事業廃止の詳細については追って報告したい。
◇	基本施策 6-3 農業振興について、目標未達の「認定農業者数」の目標が高く設定されていると思うが、達成に向けた具体的な推進策はあるか。
●	事務局（政策デジタル推進課）からは各課へ具体的な手法の指示はしないが、数値により進捗管理を行って目標達成に必要な方策を所管課で検討してもらう。
◇	認定農業者の「認定」の基準は何か。

●	一定程度の経営面積や営農上の工夫（厳格な農薬使用管理など）、認定には厳格な基準がある。収益を上げるための営農計画を定め、農業を行っているものが認定農業者となる。認定農業者は、融資や補助を受けられる範囲が広がるメリット等がある。就農意欲ある人は移住者も含め多いが、基準を満たす認定農業者はなかなか増えない。なお、市としては野菜のブランド化による収益確保、営農計画の策定支援などを行っており、農業者は増えつつある。
◇	農業全体の振興と捉えるなら、認定農業者だけでなく一般的な農家や農業法人の活動などもカウントしても良いのではないかと思う。
◇	基本施策 7-2 のうち「RPA 利用事業数」については、来年以降は導入数が伸びる見込みか。
●	現在、自治体システムの全国標準化移行に伴う各課の対応作業が膨大であり、新システムに合わせた調整は済んだものの今後も更新や変更、運用の最適化が優先されるため、新たな自動化まで着手できる余裕が現場にはないのが実情と考えている。
◇	基本施策 4-6 のえるぼし認定企業について、どのような企業が認定されるのか。
◇	厚生労働省が定める女性活躍の基準を満たした企業が認定される。
◇	えるぼしは厚生労働省が認定しないといけないということだが、市の裁量が及ぶ「審議会等委員の女性比率」について、当会議の委員比率は男女半々となっている。他の会議での取り組みはあまり進んでいないということか。
●	当て職になっている委員は変更が難しい面もあるが、文書等で啓発を行い、女性委員の登用を推進している。市長からも直接、女性比率を増やすよう各部署へ声掛けを行っている。
◇	行政区長の男女比なども参考値として分かると、市民の意識改革がどの程度進んでいるかのバロメーターになると思う。
●	現状は男性比率が圧倒的に多い。各自治会の役員選任では、「この役は男性、これは女性」という前例踏襲により固定化している実態がある。地域づくり課による男女共同参画セミナー等で、意識の刷り込みを解く取り組みを行っている。
◇	本社所在地を市内に置く企業の件数はどの程度か。また、えるぼし認定企業数の目標が5社と他と比較して低いように感じるが。
●	企業数は 28 ページにある通り約 2,300 事業所である。えるぼし認定については、直接的な働きかけは企業個別の問題であり難しく、包括的な啓発を行っている。
◇	えるぼしはハードルの高い制度であり、大企業でも取得していないところが多い。この目標設定でも致し方ない面はあると認識している。

(2) 令和 7 年度地域再生計画の進捗状況について

<事務局説明>

●	【地域再生計画について】 - 地域再生計画は地域活力の再生を目的とし、「安中市デジタル田園都市構想総合戦略」に基づいて策定。 - 現在、令和 7 年度～9 年度の「第 2 期安中市まち・ひと・しごと創生推進計画」が進行中。 - 令和 5 年度～7 年度の「秋間梅林環境整備事業」計画は今年度までで報告終了。 【第 2 期安中市まち・ひと・しごと創生推進計画】（資料 3 参照） - 企業版ふるさと納税制度を活用し、人口減少の克服と持続可能なまちづくりを目指す。 【秋間梅林環境整備事業計画の進捗】（資料 4 参照） - コロナ禍で減少した観光客の増加を目標に、ソフト・ハード面の整備を実施。 <KPI① 観光入込客数> - 基準値（4 万人）に対し、累計+3 万人（最終目標+4.5 万人未達）。前年比で約 1.2 万人減少。 - 理由は、路線バスの廃止、市外観光客へのデマンド交通「あんなカー」の認知度不足、物価高騰による旅行控えと分析。 <KPI② 新規体験コンテンツ開発件数> - 累計 12 件増加（目標 15 件未達）。 - ナイトコンテンツ「BLOOMING LIGHT」等を実施。 <KPI③ 新メニュー・新商品開発数> - 累計 18 件増加（目標 9 件を超過）。 - 梅のクラフトビール等の開発を実施。 <KPI④ 安中市観光消費額> - 基準値 51 億円に対し、累計+5.6 億円となり、最終目標（+3 億円）を大きく上回り達成。 各計画の進捗状況について、ご審議をお願いする。
----------	---

質疑応答等

◇	秋間梅林は有料化したように思うが、そのことが客数に影響しているのではないか。
●	新規事業の「BLOOMING LIGHT」において、ランタンのレンタル料として1,000円を徴収している。これは追加的な体験型コンテンツとしての位置付けであるため、入場料は有料化されていない。駐車場は期間中500円徴収しているが、それは以前からで変更はない。
◇	民間企業とのコラボレーションを深められればさらに大きな成果になる。梅クラフトビールなどの取り組みは非常に良い。 地域再生計画としては、浮き沈みがある中で全体的に頑張っていると感じる。
◇	入込客数実績数値が最終7万人と非常に切りの良い数字になっているが、各年度の報告値では1桁まで報告されている。算出根拠はどのようなになっているか。
●	算出方法の詳細について、改めて観光課に確認し報告する。

4. その他

●	ご意見は各所管課に共有させていただく。また、確認事項については追って報告する。 今回の議事録は安中市のホームページにて公表する予定である。
---	--

5. 閉会 （15時15分閉会）

6. 確認・報告事項

●（1）令和7年度安中市デジタル田園都市構想総合戦略の進捗状況基本施策

4-2 「スポーツ事業への参加者数」の目標値および廃止事業について

目標値設定時点との大きな差は、安政遠足前夜祭（約5,000人規模）が観光課所管のイベントになり、集計の対象外となったこと。他、健康ウォーキングやドッジボール大会などが事業廃止。新しい取組として碓氷峠 Maple ヒルクライムを実施している。スポーツ課にて再集計し、再集計結果をもとに総合評価を改めるとともに、当該ページの差替えを行った。後期目標においては目標値を修正する。

■修正箇所 基本施策4-2 生涯スポーツの推進

令和6年度実績： 2,482人 → 4,261人

令和7年度実績： 1,866人 → 3,912人 令和7年度達成度： D → B

令和8年度計画： 2,500人 → 4,000人

●（2）令和7年度地域再生計画の進捗状況

KPI①「秋間梅林の観光入込客数」の実績値およびその算出方法について

KPIとしては報告完了しており、数値についての指摘は無かった。算出は秋間梅林からの報告に基づいている。詳細な算出方法については不明だが、令和7年度から端数処理した報告になっており、その差分を増加数としてKPI報告に使用している。